

1. 歴史・伝統芸能の保護と継承

□旧市川家住宅の保存と活用

国登録有形文化財である旧市川家住宅の保存と季節の飾り展示、昔の暮らし体験講座等、古民家を活用した事業を実施した。また事業の一部を旧市川家活用協会と連携して実施した。

令和5年度より指定管理者制度を導入したが、これに伴い開館日が増え開館時間も1時間伸ばすことができたため、来館者の増加につながっている。事業においては、昔の暮らし展示の際に市の収蔵品を積極的に活用し、旧市川家住宅の雰囲気を活かした展示を実施している。

《入場者数》

4月～3月（開館日数 令和5年度312日、令和4年度216日（臨時開館3日分を含む））

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和5年度	320人	315人	384人	229人	129人	672人	319人
令和4年度	187人	335人	213人	299人	95人	212人	135人

11月	12月	1月	2月	3月	合計
429人	316人	323人	1,352人	1,019人	5,807人
190人	127人	245人	1,189人	710人	4,261人

（1日の平均入場者数 令和5年度19人、令和4年度19人）

【修繕実施状況】

修繕名	内容	修繕状況
看板修繕 ※市費負担	令和5年度より開館日時が変更となったため、これに伴い看板改修を実施	 

修繕名	内容	修繕状況
戸袋、庭門修繕	庭門の屋根の杉皮葺き替えおよび離れの座敷の北川戸袋の修繕を実施した。	<p data-bbox="1061 197 1173 235">庭門修繕</p>   <p data-bbox="1061 1115 1173 1153">戸袋修繕</p>  

【受託事業】

事業名等	実施日	参加者数	事業概要
節句展示「端午の節句」	4月22日～5月7日	308人	端午の節句に合わせて五月人形を展示。
季節催事「兜をかぶろう」	4月22日～5月7日	30人	五月人形の展示に合わせ、手作り兜を設置し自由にかぶれ、また五月人形と一緒に写真が撮れる事業。
年中行事「節句の祝い」※1	4月29日～5月7日	216人	旧市川家活用協会とこいのぼりの設置を行った。
年中行事「七夕」※1	6月30日～7月7日	112人	旧市川家活用協会と七夕の設置を実施。来場者に短冊を書いてもらい、笹にとりつけてもらった。
季節催事「土用ってなに？」	7月16日	1人	7月30日の土用の丑の日を前に土用の丑とは何かを解説。
昔の暮らし展示「夏の生活道具」	8月10日～20日	66人	蚊帳を主屋内に設置し、網戸がない旧家屋における虫よけ風景を展示。また夏の生活道具も合わせて展示。
つるし雛作り講座	9月14日、10月12日 11月9日、12月14日	17人、18人 17人、17人	吊るし雛作りの教室を行う。全4回で5つの飾りを作成。
年中行事「お月見」※1	9月28日～30日	187人	旧市川家活用協会と中秋の名月に合わせお月見飾りを行う。また30日には中京大学生と連携し、昔の遊びを実施。
昔の暮らし体験「お月見どろぼう」※1	9月29日	66人	旧市川家活用協会と中秋の名月に合わせ、お月見どろぼうに参加している子どもたちにお菓子をプレゼント。
季節催事「ミニ菊花展」	10月28日～11月12日	274人	日進市菊花大会に合わせ、旧市川家住宅にも菊花を展示した。
昔の暮らし展示「ハレの日」	11月25日～12月17日	339人	着物などハレの日まつわる収蔵品の展示。
年中行事「お正月飾り」※1	12月23日～1月9日	165人	旧市川家活用協会と旧市川家住宅主屋入口に門松を設置する。
昔の暮らし展示「暖房」	1月13日～28日	166人	昔の家で暖を取る方法を紹介する展示。
昔の暮らし体験「おひまち」※1	1月14日	22人	旧市川家活用協会と古くから行われてきたおひまちを体験できるイベントを行った。
節句展示「おひなさま」	2月10日～3月10日	2,100人	ひな人形の展示を行った。
くどでご飯を炊こう※1	3月10日	20人	旧市川家活用協会と旧市川家住宅のクドでお米を炊く体験を行った。
昔の暮らし展示「教科書を見よう」	3月20日～4月7日	108人 (3月末までの入場者数)	新学期に向けて昔の教科書がどのようなものであったのか紹介する展示。

※1 旧市川家活用協会協力事業

【自主事業】

別添【資料2】参照

【市で開催した事業】

事業名等	実施日	参加者数	事業概要
古民家 de ハレの日コンサート	11月26日	32人	昔のくらし展示「ハレの日」の期間中にコンサートを実施。演奏者によるハレの日にちなんだ演奏やトークに加え、職員が旧市川家住宅や昔の暮らしについて紹介した。

□岩崎城歴史記念館等の管理・活用

歴史に関する講座や展示を行い、日進の歴史を学習する機会を市民に提供した。

《入場者数》

4月～3月（開館日数 令和5年度261日、令和4年度262日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和5年度	11,047人	3,987人	2,048人	1,894人	2,861人	3,063人	3,402人
令和4年度	3,833人	2,921人	2,344人	1,756人	2,106人	1,721人	2,881人

11月	12月	1月	2月	3月	合計
4,498人	2,059人	1,627人	2,589人	2,649人	41,724人
4,012人	1,624人	2,136人	2,398人	4,445人	32,177人

【修繕実施状況】

修繕名	内容	修繕状況	
歴史記念館前広場 修繕	歴史記念館南側の入り口階段の安全性を高めるため、階段を1段追加。あわせて歴史記念館付近の整地。 写真は上から階段1段増設、南側広場整地、東側通路段差埋め（2枚）	施行前	施工後
			
			

修繕名	内容	修繕状況	
		施行前	施工後
			
			
歴史記念館展示室 横山の戦いメモリー プレイヤー修繕	音声が流れるメモリープ レイヤーが故障したため 修繕		
看板修繕	瀬戸大府線沿いの看板が 経年劣化していたため、新 しい看板を設置		
歴史記念館トイレ 扉施錠修繕	利便性向上を図るため、男 子トイレ側入り口扉に鍵 を設置		

修繕名	内容	修繕状況
<p>展望塔岩崎城展示 ケース蛍光灯交換</p>	<p>展望塔岩崎城2階の展示 ケースの蛍光灯が切れた ためLED仕様に切り替 え</p>	

【受託事業】

事業名等	実施日	参加者数	事業概要
菊作り講習会	5月27日、7月1日 8月5日、9月2日 10月7日	25人、19人 15人、16人 16人	菊花大会出品に向けて菊作りを勉強する講習会（全5回）を実施した
菊苗一般配布	6月6日 ～30日	44人	菊作りを行ってみたい方への菊苗の配布
歴史講座「池田家家臣 大陽寺左平次！」	6月18日	34人	岩崎城の戦いにおいて長久手城主加藤景常と一騎打ちを行った大陽寺左平次。どのような人物であったのか解説。
歴史講座 「小牧・長久手の戦いの きっかけの地「犬山」	7月23日	39人	小牧・長久手の戦いにおいてターニングポイントとなった池田恒興による犬山城奪取。犬山城と小牧・長久手の戦いについて発掘成果などを中心に犬山市学芸員の中野氏が解説。
特別展 「語り継がれる小牧・長久手の戦いの記憶」	8月5日 ～10月1日	5,937人	小牧・長久手の戦いについては合戦記内や口伝などにより様々な伝承が残る。日進市を始め、各地に残る小牧・長久手の戦い由来の伝承を紹介。
歴史講座 「東美濃の攻防 岩崎城主丹羽氏、 妻木城に援軍送る」	10月15日	32人	関ヶ原の戦いにおいて丹羽家は岩崎城を守備し、美濃国妻木城の普請や派兵を行った。妻木氏と丹羽氏の関係を妻木城保存会の黒田氏が解説。
第37回日進市菊花大会	10月28日 ～11月12日	3,558人	市内菊花愛好家による菊花展示
歴史講座「蟹江城と蟹江合戦」	11月23日	38人	小牧・長久手の戦いのうちの一戦「蟹江合戦」。丹羽家も関わるこの戦いについて蟹江町学芸員花井氏が解説。
企画展「日進の村々と江戸時代 ～戦国から江戸へ～」	12月9日 ～1月14日	2,427人	家康が開いた江戸幕府。江戸時代の日進市域はどのような地域であったのか。また戦国武将の末裔たちが関わる出来事を市内の収蔵品から紹介。
歴史講座「総論小牧・長久手の戦い」	12月17日	35人	歴史講座第1回～3回において小牧・長久手の戦いの局所的な部分を紹介。そのまとめとして小牧・長久手の戦いはどういう戦いなのか解説。
特別展「にっしんのおひなさま」	1月27日 ～3月10日	4,656人	雛人形の展示。

【自主事業】

別添【資料3】参照

□文化や歴史を体験しよう！キッズ講座

小学3年生～6年生を対象に歴史や文化を学べる体験講座を実施した。(全5回)

開催日：11月4日 昔の遊びをしよう

竹製の水鉄砲を創作し実際に遊ぶことで、昔の暮らしを体験する

12月23日 伝統文化(茶華道)を体験しよう

茶道の作法を学ぶこと、生け花の制作を通して日本文化に触れる

1月20日 民俗芸能を体験しよう

太鼓や笛の指導及び実演を通して民俗芸能を学ぶ

2月24日 おこしものをつくろう

地域の伝統料理であるおこしものをつくり、郷土文化を学ぶ

3月26日 文化財巡りバスツアー

赤池防空壕、香久山古窯、岩崎城を巡り、市内の文化を学ぶ

参加者数：17人(昨年度20人)



民俗芸能を体験しよう



文化財巡りバスツアー

□ひなまつり4館スタンプラリー

旧市川家住宅と岩崎城歴史記念館でのひなまつり展示期間中に合わせ、ひなまつりスタンプラリーを実施した。

開催期間：2月3日～3月10日

開催場所：旧市川家住宅、岩崎城歴史記念館、図書館、市民会館

参加者数：約900人(昨年度約900人)

□民俗芸能連合会の支援

- ・郷土芸能の保護醸成を行う民俗芸能連合会の活動の活性化を図るため、補助金を交付した。民俗芸能連合会は、加盟する10保存会の活動助成をはじめ、民俗芸能発表会や研修会を行った。また、民俗芸能発表会の開催にあたり市の広報やホームページへの掲載、公共施設へチラシを設置し周知を図った。

2. 有形・無形文化財の保護と活用

□有形・無形文化財の指定および保護・活用

地域の歴史を後世に伝える上で、欠かすことができない文化財について、市の指定文化財として指定し、保護管理をした。また活用のため、市指定文化財の香久山古窯の公開や近隣市町と連携したイベントを実施した。

◎市指定文化財への補助金交付

市指定文化財の保護を目的とした管理又は修理に対し、日進市指定文化財補助金交付要綱に則り補助金を交付した。

件数：2件

臥龍の松保護事業として防虫作業（適切な薬剤散布）及び生育管理（剪定）事業に補助金を交付。今後も定期的な見回り巡回を行い、修理等が必要となる案件については助言し適切な保護を努めていく。

◎市指定文化財の指定

市内に存在する文化財のうち、市にとって重要なものについては市の指定文化財として指定し、保護及び活用のために必要な措置を講じ、市民の文化的向上に貢献した。

新たに「米野木お馬頭（おまんこ）」を市指定文化財に指定した。

指定日：令和5年8月29日

また、米野木お馬頭が次世代に継承され、末永く保存されていくことを目的に、祭礼の周知を図った。

具体的な取り組み：市内全戸配布の広報にて市指定文化財になった記事の掲載、愛知県の観光情報サイト「あいち観光ナビAichi Now」への掲載、祭礼前に新聞各社へ情報提供、日進市立東小学校で開催される出前講座を新聞各社へ情報提供

◎香久山古窯の公開

市指定文化財の香久山古窯の活用を図るため、期間限定で公開し、公開期間中には文化財スタンプラリーおよび愛知県陶磁美術館学芸員による古窯講座を実施した。

公開期間：4月23・30日、5・6・10・11月の毎週日曜日

来場者数：154人（昨年度181人）

講座実施日：6月25日

参加者：31人



□埋蔵文化財保護事業

地域の歴史を後世に伝えるうえで、欠かすことができない国民共有の財産である埋蔵文化財を保護するため、開発事業予定の埋蔵文化財包蔵地において、埋蔵文化財の試掘調査を市で実施した。

件数：1件

東名高速道路拡充に伴い、O-36号窯・O-G-3号窯確認調査（米野木町南山地内、東名高速道路東郷PA上り線沿い）を公益財団法人瀬戸市文化振興財団に試掘を委託し調査したところ、埋蔵文化財は無かったため慎重工事とした。